

**①吉賀町で開催された「きん祭みん祭農業文化祭」に鳥獣ブースを出展しました！**

ジビエの普及活動や鳥獣への関心を深めてもらうことを目的として、石西地域農林振興協議会では、令和7年11月16日（日）に吉賀町柿木で開催された「きん祭みん祭農業文化祭」に鳥獣ブースを出展しました。ブースでは、ジビエの試食やアンケート、狩猟をイメージした射的、はく製や罠の展示などを企画しました。

ジビエの試食では、猪のジャーキーを提供し、多くの方にジビエを味わってもらい「美味しいかった」という感想を多数いただきました。約120名の方にはアンケートにもご協力いただきました。

射的は特に小学生に大変好評でした。模擬銃に興味を持ち、楽しそうに触ったりする姿が見られました。

また、動物のはく製や罠の展示にも多くの方々が関心を示し、普段見ることのない珍しいものに触れてもらいました。

今回の活動を通じて、来場者の方にジビエや鳥獣に関する関心を深めてもらうことができました。今後も多くの方に鳥獣やジビエに対する関心を持ってもらう活動を行っていきたいと思います。



ブースの様子



射的の様子

②林内通信機器「Soko-co」の実演会を開催しました！

林業の現場は、山間部で従事することから携帯電話の不感地帯が発生しやすいうことから、お互いの連絡方法がなかったり、万が一事故が発生した場合に負傷者の位置把握に時間がかかるケースも想定されるなど、労働安全上の懸念があります。

そういうった様々なケースを解消し、現場作業の安全確保や作業効率の一助とするため、令和7年11月19日（水）、高津川流域林業活性化センターと島根県公社造林推進協議会の主催で、林内通信機器「Soko-co」の実演会を開催、管内の市町や森林組合等事業体から計20名が参加しました。

この「Soko-co」は、業務用無線機とアプリをインストールしたスマートフォンを使用した通信システムで、アプリにあらかじめ現場の地図を取り込むことによりオフラインでの使用が可能で、その地図上に業務用無線機の位置が表示されるとともに、事故が発生して動けない状態になった時は、他の無線機やアプリに緊急通信を発信する仕組みを備えています。

業務用無線機の開発とシステム販売を担当している株式会社JVCKENWOODから概要を説明いただいた後、株式会社美都森林の従業員の方4名に実際に山に入っていただき通信状況を確認しました。

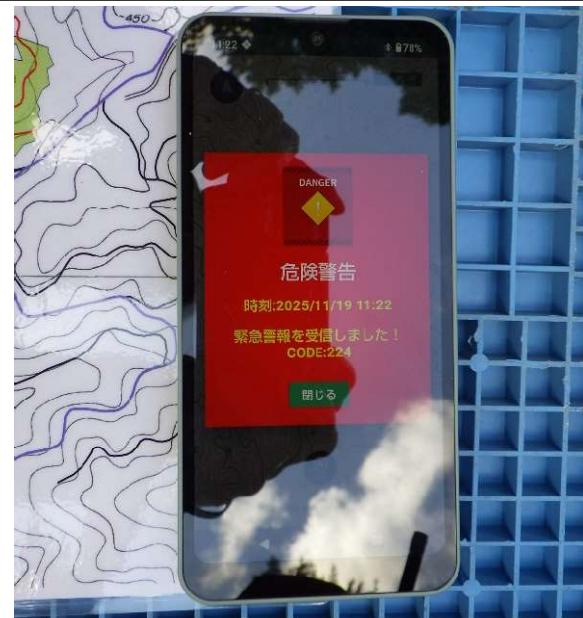
会場は10ha強の現場で、無線機で連絡を取りつつ四方に散らばって移動してもらいましたが、基地とした研修メイン会場と移動担当の4名の方々との無線機による通信は良好で、アプリ上の表示も途切れず、尾根や谷を隔てても問題なく通信できました。

また、緊急時の通報も問題なく受信でき、10haほどの現場であれば「Soko-co」が想定しているシステムが問題なく稼働することを参加者全員で確認することができました。

今後、このような林内通信システムの導入により、現場作業をされる方の作業効率の向上や安全の確保が図られることを期待します。



移動中の4名と基地の通信の様子



スマホ側への緊急通報の様子